

## 第2章 柏市の子育てを取り巻く

### 現状と課題

1	人口等の状況	6
2	子育ての状況	8
3	子ども・子育て支援の評価と実施状況	12

---

# 1 人口等の状況

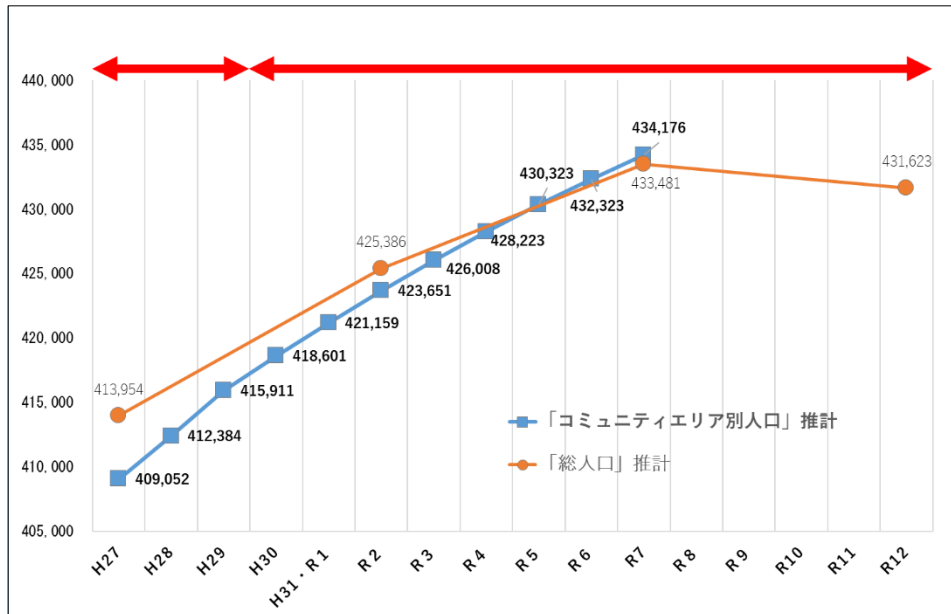
## ■ 課題

### ① 子育ての孤立化

- ◆ 柏市の総人口は、人口増加傾向にあります。令和7年をピークに減少に転ずる見込みです【図1】。社会動態（転出・転入による増減）は転入超過により、年間4,000人前後のプラスとなっている一方で、自然動態（出生・死亡による増減）は平成29年から年間200~300人前後のマイナスに転じています【図2】。

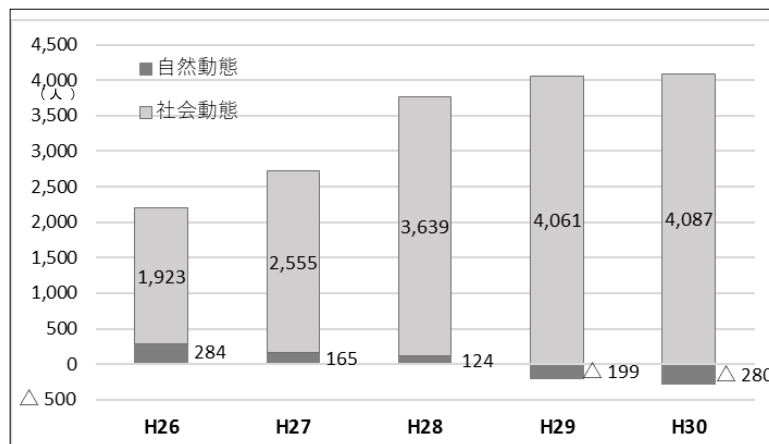
社会動態による増加は今後鈍化すると思われませんが、計画期間中は依然、転入による人口増加が見込まれます。また、転入者には若いファミリー層が多いことが予想されます。

【図1】総人口の推計



※ 推計方法が異なるため、「総人口（国勢調査ベース）」「コミュニティエリア別将来推計人口（住民基本台帳ベース）」とは総人口の値は一致しません（「柏市の将来人口推計」平成30年4月）

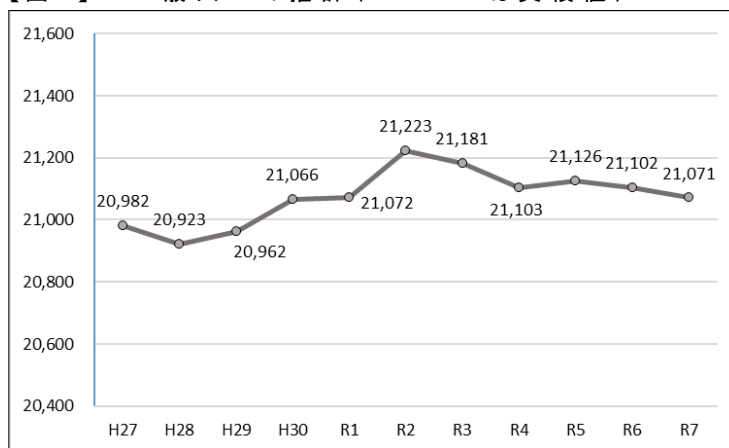
【図2】自然動態と社会動態の推移



（「柏市統計書（平成30年版）」）

- ◆ 出生数は、計画期間中は減少傾向ですが、乳幼児のいる世帯の転入や転入世帯の出産も見込まれることから、乳幼児全体の児童人口は急激には減少せず、横ばいまたは緩やかな減少が見込まれます【図3】。

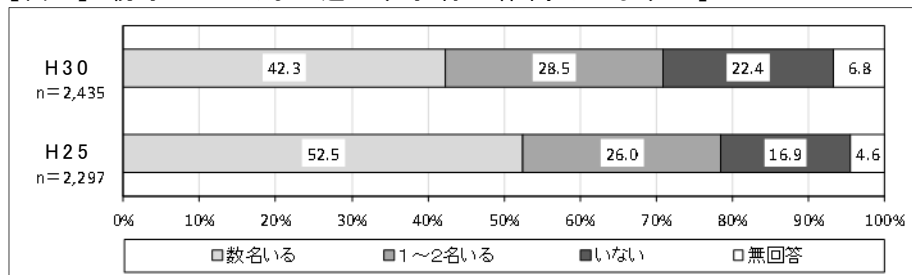
【図3】0～5歳人口の推計（H27～29は実績値）



（「柏市の将来人口推計」関連データより 平成30年4月）

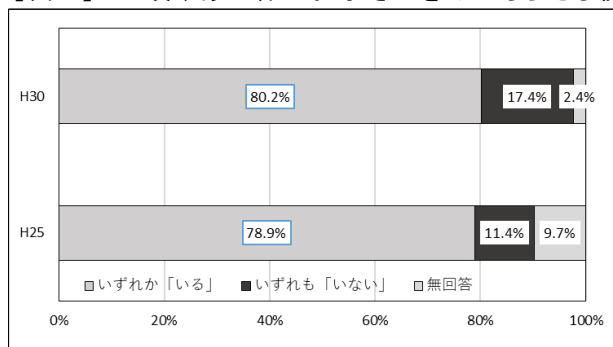
- ◆ 子育て仲間がいない人や子どもをみてもらえる親族や知人が「いない」人が増えています【図4・5】。転入して間もなくは、近隣とのつながりを持たない子育て家庭が多いため、転入者が増えたことにより、そうした家庭が増えたと考えられます。また、子どもをみてもらえる親族や知人が「いない」人や子育て仲間が「いない」人は、そうした人が「いる」人よりも、心配や悩みがあっても相談しなかった人の割合がいずれも2倍以上高い割合となっています【図6】。

【図4】「親子でいっしょに過ごす子育て仲間はいますか」



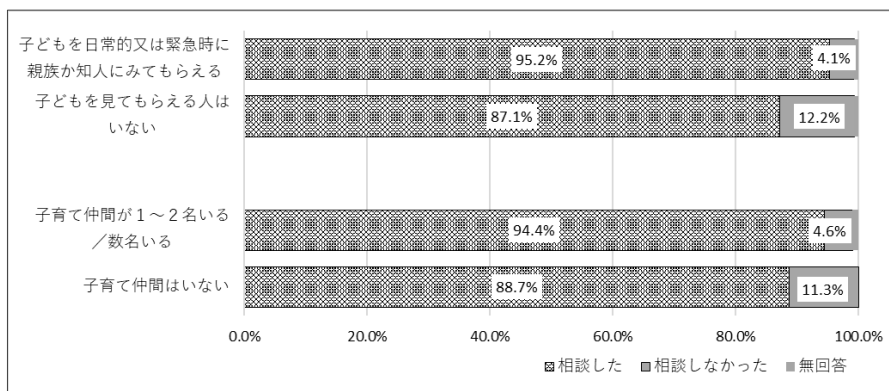
（柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成25・30年）

【図5】「日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか」



※各年で回答方法が異なるため、「いずれもない」「無回答」以外の回答（日常的に／緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる祖父母等の親族／友人・知人がいる）を「いずれかいる」として集計（柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成25・30年）

【図6】「子どもをみてもらえる親族・知人，子育て仲間の有無別心配や悩みがあったときの相談の有無」



(柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成30年)

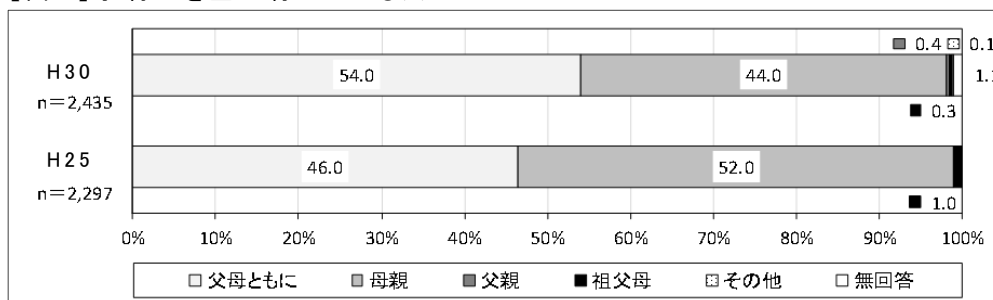
## 2 子育ての状況

### ■ 課題

#### ② 子育ての不安や負担

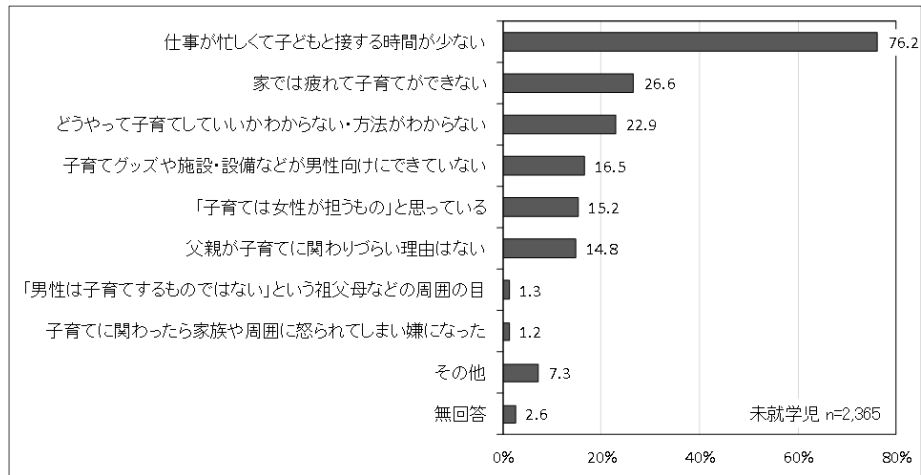
- ◆ 父母共に子育てを行っている家庭は増えていますが、主に母親がみている家庭が4割以上あります【図7】。父親は仕事が忙しいことなどにより子育てに関わりづらい状況があるとうかがえます【図8】。悩みの相談相手（複数回答）としては配偶者が8割以上であることから、家族の関わりは重要であるといえます。しかし、悩みやつらさを共有したり相談したりできない人も一定数いると考えられます【図9・10】。
- ◆ 悩みの内容としては、仕事との両立、経済的負担などの悩みが多く、子ども自身に関わる悩みも多くあります【図11】。

【図7】子育てを主に行っている人

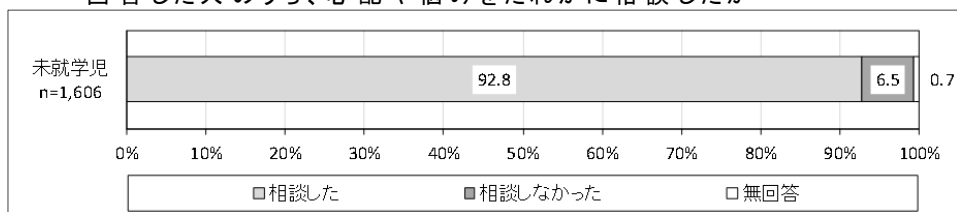


(柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成25・30年)

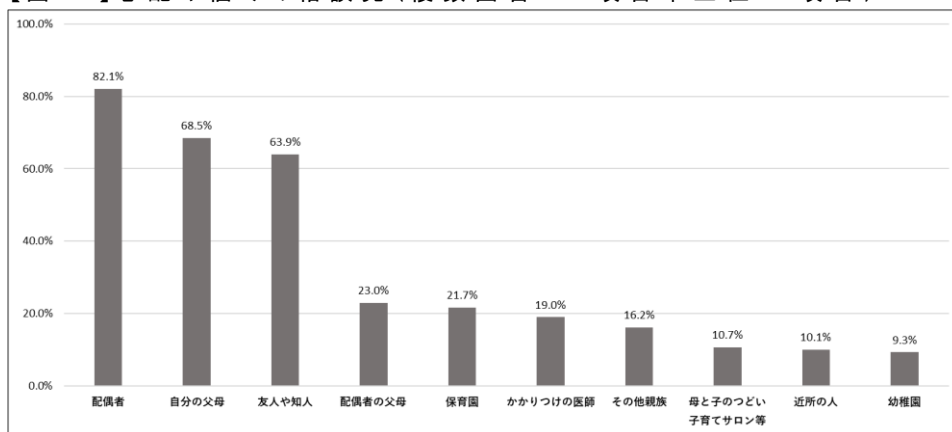
【図8】父親が子育てに関わりづらい理由



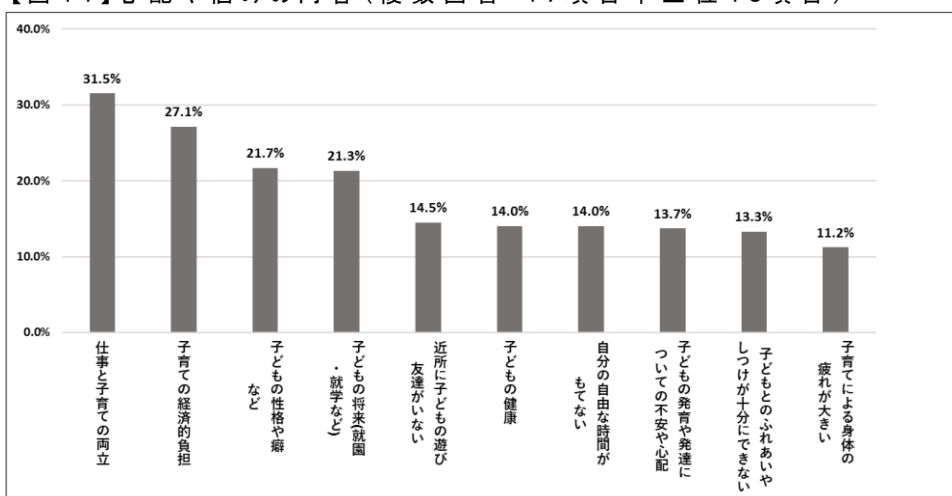
【図9】心配や悩みが「よくあった(19.9%)」「ときどきあった(46.1%)」と回答した人のうち、心配や悩みをだれかに相談したか



【図10】心配や悩みの相談先(複数回答・25項目中上位10項目)



【図11】心配や悩みの内容(複数回答・17項目中上位10項目)



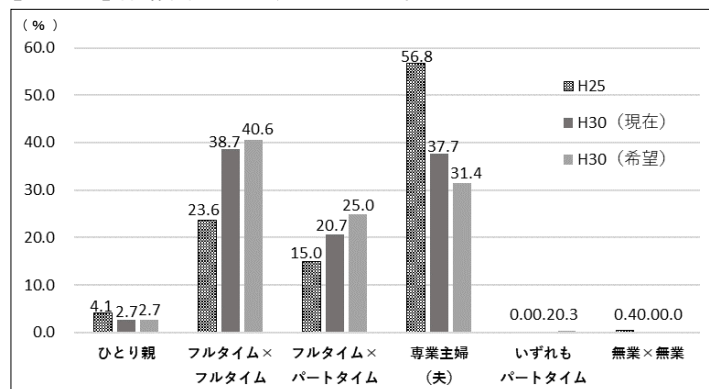
## ■ 課題

### ③ 保育需要の増大

### ④ 乳幼児期の教育・保育の質の確保・向上

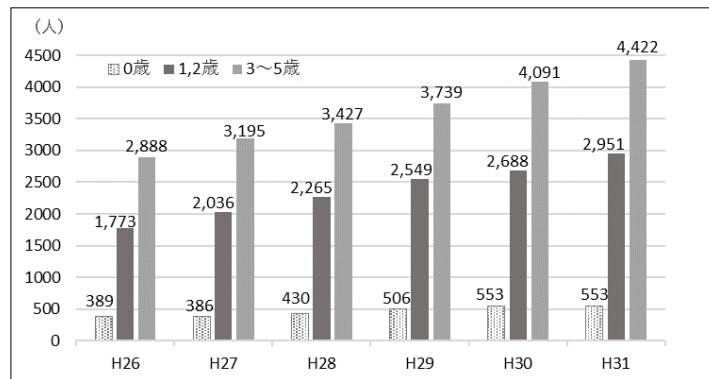
- ◆ 女性就業率が高まり、子育て世帯でも共働き家庭の増加が加速しています【図12】。これにより保育の需要が増している【図13】のと同時に、国基準待機児童数\*2は0を達成しているものの（平成27～31年度。各年4月1日現在）、入園保留児\*3数が増加し、ニーズ調査では、希望する園への入園や入園時期が希望通りにならない状況を訴える声や、その質の確保・向上を求める声が多くあります【図14】。

【図12】保護者の就労状況と希望



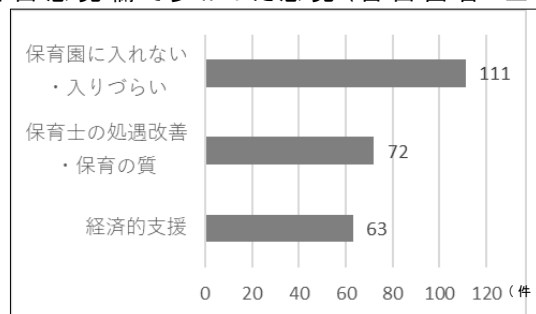
(柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成25・30年)

【図13】認可施設の利用者数



(保育運営課)

【図14】自由意見欄で多かった意見(自由回答・上位3項目)



(柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成30年)

- \*2 国基準待機児童数:認可保育園等への入園申請があり入園条件に該当しているが、入園できない児童の数。入所予約(入所希望日が調査日よりも後のもの)や入園可能な園があるが特定の保育園を希望し待機している場合などを除いたもの
- \*3 入園保留児:認可保育園等への入園が保留になっている児童

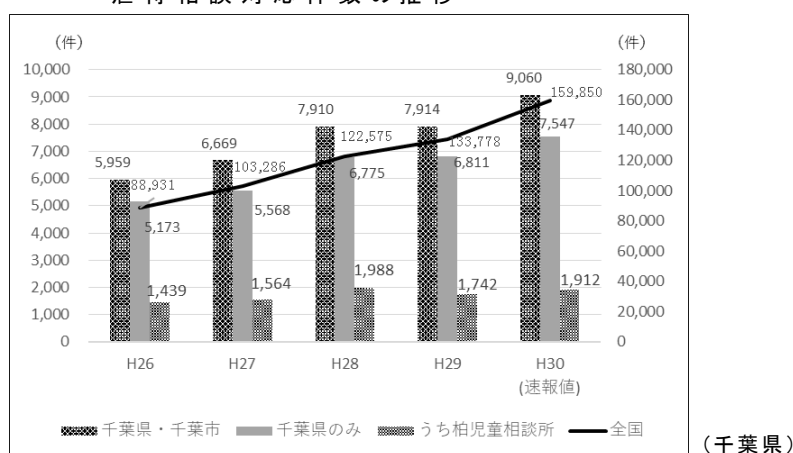
- ◆ 乳幼児期の発達は連続性を持っており、幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、質の高い教育・保育を提供することは、非常に重要です。

## ■ 課題

### ⑤ 子ども自身や子どもの家庭環境への理解

- ◆ 深刻な虐待事件が全国各地で発生する中、虐待防止や適切な対応が喫緊の課題となっています。対応件数の増加は虐待自体の増加とは言いきれませんが、対応すべき件数は、年々増加しています。

【図15】全国・千葉県・柏児童相談所管内の児童虐待相談対応件数の推移



- ◆ 障害児やひとり親家庭の子ども、外国につながりを持つ子どもといった特別な支援が必要な子どもについても、各々の状況により、きめ細かい支援や地域とのつながりづくりができる環境整備が求められています。その数や支援のニーズを的確に把握しながら、支援の資源活用を行っていかねばなりません。

- こども発達センターへの相談問い合わせ数 626件 (H30)
- 児童扶養手当\*4 受給児童数 3,487人 (H30。18歳未満人口に占める割合は5.3%)
- 外国籍の0～5歳児数 426人 (R1.5.1現在。0～5歳人口に占める割合は約2.0%)

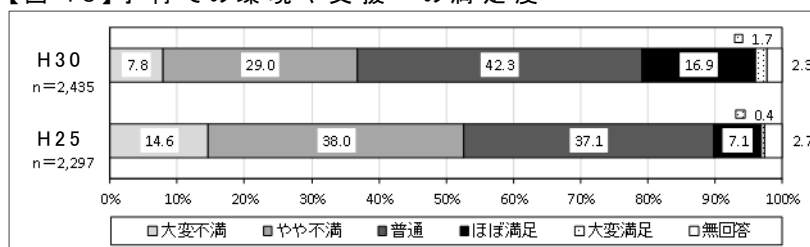
\*4 児童扶養手当: 離婚等により父または母がいないひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、子どもの福祉の増進を図ることを目的として支給される手当

### 3 子ども・子育て支援の評価と実施状況

#### (1) 子育ての環境や支援への満足度

- ◆ 平成 25 年度調査時と比較して、「ほぼ満足」「大変満足」が 7.5% → 18.6%、「やや不満」「大変不満」が 52.6% → 36.8%と満足度が上がりました。しかし、まだ 3 割以上の方が不満を感じている状況です【図 16】。

【図 16】子育ての環境や支援への満足度

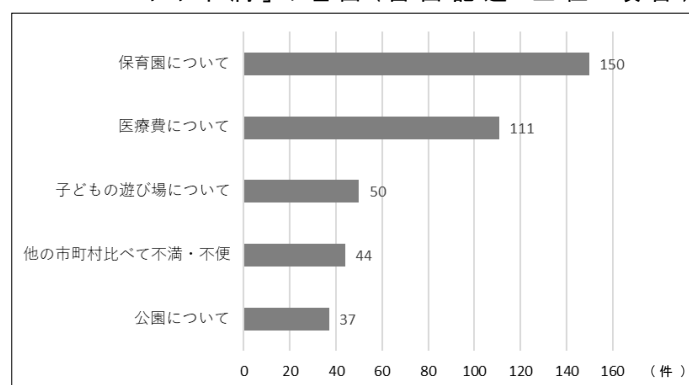


(柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成 25・30 年)

- ◆ 満足度を問う設問で「不満」の理由として多かった意見では、保育園の入園に関わるものや医療費の自己負担について、子どもの遊び場に関するものなど多岐にわたると同時に、他市と比較しての意見が多くありました【図 17】。

なお、子ども・子育て支援施策を実施していく上では、保護者のニーズだけでなく、「子どもの健全な育ち」に資するものであるかの視点を持って取り組んでいく必要があります。

【図 17】子育ての環境や支援への満足度で「大変不満」「やや不満」の理由(自由記述・上位5項目)



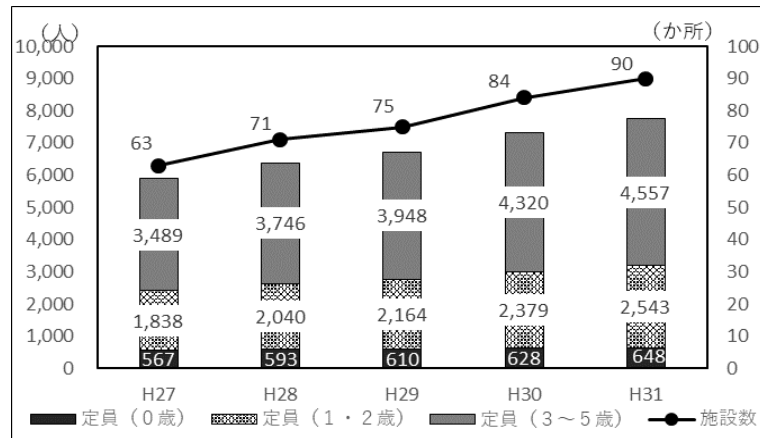
(柏市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査 平成 30 年)



(2) 柏市子ども・子育て支援事業計画(第1期計画)の実施状況

- ◆ 増加する保育需要に対応するため、認定こども園や認可保育園等の整備を進め、施設数は42.9%、定員数は31.5%の増加を図りました【図18】。

【図18】認可施設の施設数と定員数(各年4月1日付整備の状況)



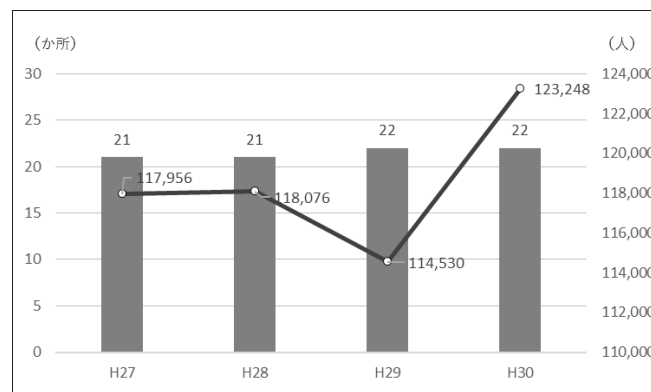
- ◆ 教育・保育施設や各子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供や相談などを行う利用者支援事業\*5の設置を進めました【図19】。

【図19】利用者支援事業の実施状況

	H27	H28	H29	H30	R元
特定型(保育アシストコール・アシストデスク)	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
基本型(子育て支援アドバイザー)	—	—	1か所	1か所	2か所
母子保健型(妊娠子育て相談センター)	—	—	3か所	4か所	4か所

- ◆ 地域子育て支援拠点\*6は、閉所・休所施設がありましたが「はぐはぐひろば」2施設の新規整備を行い、利用者が増加しました。【図20】。

【図20】地域子育て支援拠点事業の施設数と利用者数



- \*5 利用者支援事業:子どもと保護者、妊婦が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報収集・提供、相談・助言、関係機関との連絡調整等を行い、支援する事業
- \*6 地域子育て支援拠点事業:乳幼児の親子を対象に、交流や育児相談・情報提供・育児講座を実施する事業。柏市内では、認定こども園・保育園に併設する地域子育て支援センターや児童センター内で実施するもの、単独型のひろば「はぐはぐひろば」がある。